



第92回 山宣墓前祭で佐藤和夫府本部副会長が弔辞



No. 562

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
編集発行人 田中幹夫

〒113-0034 東京都
文京区湯島2-4-4
平和と労働センター・全労連会館
電話 03(5842)6461
FAX 03(5842)6462
E-mail chian@bz03.plala.or.jp

頒価 50円

リモート三役会議

「総選挙勝利のための 同盟躍進期間」をよびかける

中央本部三役会議が3月11日、リモートで本部と北海道、秋田、愛知、大阪、岡山、熊本の各地をむすんでおこなわれ、4月1日から5月31日を「コロナ禍に打ち勝ち総選挙等勝利のための同盟躍進期間」に決めました。



会議は、吉田万三副会長の開会あいさつのかた、増本一彦会長が「今日の情勢の特徴と同盟の任務」について報告しました。



会議は、吉田万三副会長の開会あいさつのかた、増本一彦会長が「今日の情勢の特徴と同盟の任務」について報告しました。

吉田副会長は、吉田万三副会長の開会あいさつのかた、増本一彦会長が「今日の情勢の特徴と同盟の任務」について報告しました。

吉田副会長は、吉田万三副会長の開会あいさつのかた、増本一彦会長が「今日の情勢の特徴と同盟の任務」について報告しました。

主な記事

- 衆議院選勝利、同盟躍進期間を呼びかける 1
- 私も一言／嶋田千津子 3
- 頸彰碑／中垣虎児郎 5
- 抵抗の群像／相沢良 6
- 同盟文芸／短歌・俳句・川柳 7

衆院第2議員会館
国会請願5月12日（水）11時受付10時

（2ページにつづく）

(7ページからつづく)

たえ、最後に、「同志・山宣、あなたが世界を展望した戦争のない世界を、いま人類は、『核兵器禁止条約』の発効により展望を大きく切り開いています。しかし、この日本が安全保障の環境の悪化を言い、敵基地攻撃能力の整備などを持ち出し、逆流を作りだそうとしています。私たちは、かつて戦争遂行のために治安維持法がもたらした害悪を告発し、二度と戦争をおこさせないことを誓います」

長野県実行委発足、一千万円 基金決定

伊藤千代子の出身県の長野県では3月28日、長野市で「実行委員会結成のつどい」を開き、共産党県委、県労連、高教組、民医連、救援会はじめ県内民主団体・人士、同盟各支部など30団体・個人が参加。県内77市町村すべてで上映を行い、2万人鑑賞者の組織化、そのための製作・上映運動基金10

◎77市町村・2万人鑑賞者めざし

写会へ始動 ◎10月10日撮影開始、3月15日試

事務局日誌

「不屈」編集会議

国際女性デー

オンライン三役会議

市川正一墓前祭

全労連会館運営委員会

オンライン第74回無名

戦士合葬祭

憲法会議全国総会

北信越ブロック会議

東海ブロック会議

3月31日

3月24日

3月21日

3月4日

3月8日
3月11日
3月15日
3月18日
3月21日
3月24日
3月31日

（同盟千代子チーム・藤田記・携帯 090-145527-1129）
【訂正】

本紙3月号7ページ文芸欄短歌の2句目の中山秀樹さんを中山芳樹さんに訂正します。

00万円を創り出すために職域、地域で全力をあげることを申し合いました。代表には木島日出夫さん（元衆院議員・弁護士）が就任、旺盛な運動を開始しました。

◎嵐圭史さん（元劇団前進座）応援激励へ

映画化運動に共鳴し、出演と製作運動への協力を申し出られた嵐圭史氏は、この日、長野県実行委員の「つどい」に、翌29日には、諏訪入りし千代子墓参を行い、「歓迎懇談会」に参加。30人の参加者を前に役者人生70年のキャリアを生かして縦横無尽に語り、激励に応えて諏訪全域で200万円基金を集めようと申し合わせました。

【訂正】

学習集会は35都道府県に拡大（予定含む）、映画製作運動でわが国初めての運動形態を創り出しています。この歴史的事業を記録して残そうと「運動撮影チーム」（桂監督、井藤・風間常任理事）が活動を開始、28日長野市・29日諏訪へと嵐氏に同行撮影に入りました。今後各地に派遣します。

伊藤千代子の生涯を知り、語る

学習集会は35都道府県に拡大（予定含む）、映画製作運動でわが国初めての運動形態を創り出しています。この歴史的事業を記録して残そうと「運動撮影チーム」（桂監督、井藤・風間常任理事）が活動を開始、28日長野市・29日諏訪へと嵐氏に同行撮影に入りました。今後各地に派遣します。

◎学習会旺盛に続く、事業を記録する「映像撮り」開始

学習集会は35都道府県に拡大（予定含む）、映画製作運動でわが国初めての運動形態を創り出しています。この歴史的事業を記録して残そうと「運動撮影チーム」（桂監督、井藤・風間常任理事）が活動を開始、28日長野市・29日諏訪へと嵐氏に同行撮影に入りました。今後各地に派遣します。

2021年春季号(41号)

『治安維持法と現代』

4月30日発売

【主な内容】<巻頭論文>日本学術会議任命拒否と反憲法政治=小沢隆一、戦前のもう一つの学問統制・学問動員=萩野富士夫、拷問の時代を終わらせるために=前田朗、《情勢学習》菅政権の防衛政策=急浮上した敵基地攻撃能力=半田滋、3・11大震災から10年の福島=伊藤達也、《基礎学習》「新自由主義」とコロナ・パンデミック=友寄英隆、ジェンダー・ギャップ指数と日本社会の課題=清末愛砂、《エッセイ》没後70年・治維法下の宮本百合子=澤田章子、島崎こま子の“第二の人生”=山本隆、戦前の映画弾圧=羽渕三良、日本の革命歌・労働歌=私の体験記=西田清、《研究報告》秩父事件と女性たち=鈴木義治、浅野晃『幻想詩集』を読む=入谷寿一★国会請願の紹介議員の名簿一覧

治安維持法と現代を結ぶ運動理論誌 A5判定価1000円、申込みは中央本部・各都道府県本部へ。